

危険物取扱者試験 試験案内

令和7年度

お知らせとお願い

- ◆受験申請受付後は、内容の変更、受験の取り止めによる試験手数料の返還はできません。
- ◆受験申請された方は、この試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

☉(一財)消防試験研究センター
大阪府支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号
近畿税理士会館・大同生命ビル6階

TEL (06) 6 9 4 1 - 8 4 3 0

FAX (06) 6 9 4 3 - 0 3 1 6

<https://www.shoubo-shiken.or.jp>



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により大阪府知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

◆◆ 試験の場所、日時、申請受付期間、合格発表予定日等 ◆◆

回数	試験会場 (所在地)	試験日 (曜日)	申請受付期間 【電子・書面】	合格発表 予定日	試験の開始時刻と 種類 ※集合時刻は開始時刻の30分前です。
第2回	大阪大学 豊中キャンパス (豊中市待兼山町1-16)	令和7年 6月22日 (日)	5月8日(木)～5月15日(木)	令和7年 7月17日 (木)	◆10時00分 乙種(第4類) ◆13時30分 甲種 乙種(全類) 丙種
第3回		令和7年 10月5日 (日)	8月18日(月)～8月25日(月)	令和7年 10月30日 (木)	
第4回		令和7年 11月30日 (日)	10月9日(木)～10月16日(木)	令和7年 12月24日 (水)	
第5回		令和8年 2月15日 (日)	令和7年 12月11日(木)～12月18日(木)	令和8年 3月12日 (木)	
第1回		※新年度 令和8年 4月19日 (日)	令和8年 2月26日(木)～3月5日(木)	令和8年 5月14日 (木)	

- (1) インターネットによる電子申請は、受付期間初日の午前9時から最終日の午後11時59分までの間、24時間受け付けます。なお、システムメンテナンスのため土曜日の午前1時から午前5時の間は受け付けできません。
- (2) 書面申請の願書の提出は、簡易書留による郵送を原則としています。(受付最終日の消印まで有効) 受付期間外に到着した願書は受け取ることができません。
- (3) 書面申請で窓口を持参される場合、受付時間は、土日祝日を除く受付期間中の午前9時から午後5時までです。
- (4) 申請者数が試験会場の定数に達した場合は、受験申請の受付を締め切ることがあります。

【電子申請拡大のお知らせ】

これまで受験資格の確認や科目免除等のための証明書類を必要とする方は、書面申請に限られていましたが、電子申請機能の拡大によって、これらの方も電子申請していただくことが可能となりました。

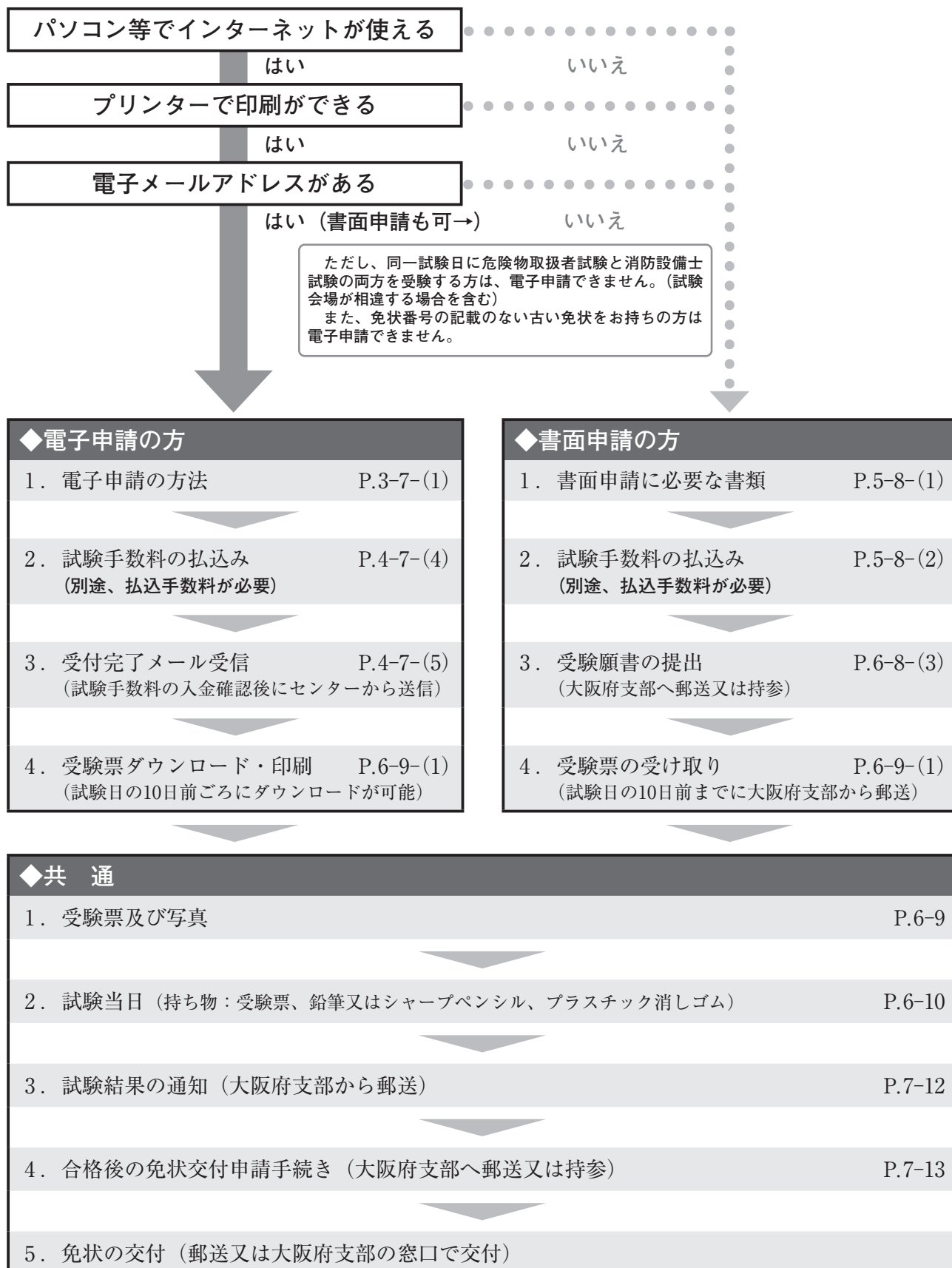
【試験手数料払込方法拡大のお知らせ】

書面申請の場合の試験手数料払込みが、一般財団法人 消防試験研究センター（以下「当センター」という。）専用の払込用紙による払込みに加えて、コンビニ決済やクレジットカード決済等も活用していただけるようになりました。

※自動車又は自動二輪車・原動機付自転車での試験会場への来場や送迎の駐停車は固くお断りします。

◆◆ 受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ ◆◆

- ・受験手続は、インターネットによる「電子申請」か、受験願書による「書面申請」のいずれかで申請していただきます。
- ・「電子申請」は、手続きが容易で受験願書の郵送料が不要ですのでご利用ください。
- ・下記の流れに従って、「電子申請」か「書面申請」のいずれかを選択してください。



1 試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立ち合い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことができる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

2 受験資格

(1) 甲種

受験資格が必要です。

受験資格については、「受験資格及び証明書類」(P.8-14(2))をご確認ください。

(2) 乙種及び丙種

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

3 試験手数料

試験手数料(非課税)は下表のとおりです。

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

4 受験申請の方法

受験の申請は、インターネットによる電子申請と願書を郵送又は持参して提出する書面申請の2通りの方法があります。

5 複数種類の受験(併願受験と複数受験)

(1) 併願受験: 午前の乙種第4類と午後の試験(甲種、乙種、丙種)を受験する場合。

(2) 複数受験: 既に乙種危険物取扱者免状を持っている方が、午後の乙種第4類以外の乙種の試験の2種類又は3種類までを受験する場合。

試験時間は、2種類受験で1時間10分、3種類受験で1時間45分となります。

書面申請の方は、願書を受験する試験の種類ごとに作成し、まとめて一つの封筒に入れ、封筒の表に願書の通数を記入してください。試験手数料は、受験する種類それぞれに必要です。

6 乙種第4類の試験時間(午前・午後)の指定

乙種第4類の午前と午後の区分は、受験票で指定します。集合時刻を間違えないよう注意してください。

乙種第4類は、午前、午後いずれの指定を受けても受験ができる状態で、出願してください。

7 電子申請の方法(インターネットによる受験申請)

(1) 申請方法(印刷ができること、また電子メールアドレスがあることが条件です。)

下記の内容を確認し、当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)から申請を行ってください。なお、詳細にあっては同ホームページをご覧ください。

ただし、同一試験日に危険物取扱者試験と消防設備士試験の両方を受験する方は電子申請することはできません。

(2) 受験資格証明書等のアップロード

乙種危険物取扱者免状以外の資格で、甲種危険物取扱者試験を受験又は試験科目の一部免除を希望する方は、P.8～P.9を参照し、証明書類を電子ファイル化（JPEG形式又はPDF形式）したものを申請情報入力画面に従ってアップロードしてください。

証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と併せてアップロードしてください。（例：運転免許証（旧姓記載）、戸籍抄本等）

審査結果をメールで通知しますので、必ず確認してください。

証明書類に不備があった場合は「審査差戻通知」が届きますので、指定する期日までに是正してください。

電子ファイル化に際しての留意事項	
1	電子ファイルは、 ① デジタルカメラ・スマートフォンで撮影又はスキャンしたもの ② 証明書類の全体が鮮明に確認できるもの ③ 印影がかけていないもの としてください。
2	証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。
3	原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。
4	アップロードできるファイルサイズは合計10メガバイトまでです。
【ご注意】 ご自身の受験資格の有無は、必ず事前に本試験案内やホームページでご確認ください。 ご不明な場合は、当センター大阪府支部にお問い合わせください。	

(3) フリーメールアドレス等について

スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。詳細は、当センターホームページ（<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>）をご覧ください。

(4) 試験手数料の払込み

ア 払込方法

払込方法は、次の決済方法から選択できます。払込みには、所定の払込手数料が必要です。

- ① ペイジー（Pay-easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式
- ② コンビニエンスストア決済（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。））
- ③ クレジットカード決済（VISA、Master Card、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）
- ④ スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しています。

イ 支払期限

- ・仮受付完了日の翌日から3日目の23時59分までに振込みを済ませてください。
- ・期限内に振込みが完了しないとインターネットによる申請の受付は無効となります。この場合は、インターネットによる申請の受付期間内に再度最初から申請手続きを行ってください。

(5) 受付完了メールの受信

ア 試験手数料の払込方法で(4)ア①及び②を選択された方は、仮受付完了となり、お支払いの確認が完了次第、「受付完了メール」を送信いたします。

イ 試験手数料の払込方法が(4)ア③及び④の方は、お支払いの確認が完了次第、「受付完了メール」を送信いたします。

(6) 注意事項

ア 車イスなど受験上の配慮を希望する方は、申請時に電話又はFAXにて申し出てください。

イ 一度払い込まれた試験手数料は、理由の如何を問わずお返しできません。

ウ (一財)消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

※電子申請はこちらから



電子申請の問合せ先

(一財)消防試験研究センター 電子申請室

電話 0570-07-1000（有料）

受付時間 平日 午前9時から午後5時まで

詳細は、当センターホームページ（<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>）に利用方法やQ&Aが掲載されていますので、ご確認のうえ、お申込みください。

8 書面申請の方法（受験願書による受験申請）

（1）申請に必要な書類

提出書類	留意点	
①受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成し、提出してください。（P.13～P.15の記入例参照）	
②振替払込受付証明書（お客さま用） ※郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の払込用紙を使って払込みされた方は、「 振替払込受付証明書（お客さま用） 」を受験願書（B面）の指定の欄にのり付けしてください。（P.14参照） 願書（B面）の2次元コード経由で払込みされた方は、「 決済完了番号記入欄 」に決済完了番号（18桁）を記入してください。	
③危険物取扱者免状のコピー	既に危険物免状を1種類でも取得している方は、受験願書（B面裏）の指定の欄に免状のコピーをのり付けしてください。（P.15参照） 願書A面下の「免状取得の有無について記入」欄に免状番号、交付年月日、交付番号を記入してください。	該 当 者 の み
④甲種受験資格を証明する書類（コピー可）	甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の貼付が必要です。（P.8参照）	
⑤火薬類免状のコピー	火薬類免状をお持ちの方で、乙種第1類又は乙種第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、免状のコピーの貼付が必要です。（P.9参照）	
⑥消防団員歴を証明する書類及び消防学校の教育修了証書（コピー可）	丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の貼付が必要です。（P.9参照）	

※証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を併せて貼付してください。
（例：運転免許証（旧姓記載）、戸籍抄本等（コピー可））

（2）試験手数料の払込み ※14ページを参照

ア 所定の払込用紙で払込みの場合

- ① 受験願書と一緒にお渡しする指定の払込用紙の金額欄に受験する種類に応じた試験手数料を記入し、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください。なお、**払込手数料は申請者の負担**となります。
※「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」に日附印が押印されていないと申請できませんので、**ATM機では払込まないでください**。
- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を受験願書（B面）の指定の欄に貼り付けてください。（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」を貼らないように注意してください。（P.14参照）
なお、**金額欄の訂正は無効**ですので、金額の記入を誤った時は、新しい払込用紙をお使いください。
- ③ 「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。
紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を受験願書に貼り付けてください。
なお、再度払込みをした後で、紛失した「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を発見し提出したときは、還付申請により先に払込まれた試験手数料をお返しします。

イ 願書B面の2次元コード経由で払込みの場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要です。
払込み後は、必ず願書B面の「決済完了番号記入欄」に決済完了番号（18桁）を記入してください。

- ① ペイジー（Pay-easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式
- ② コンビニエンスストア決済（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。））
- ③ クレジットカード決済（VISA、Master Card、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）
- ④ スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※当センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しています。

(3) 受験願書の提出及び問合せ先

一般財団法人消防試験研究センター 大阪府支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館・大同生命ビル6階

TEL 06-6941-8430 FAX 06-6943-0316

(4) 注意事項

- ア 願書の提出は、配布の封筒により、受付期間内に、郵便局の窓口から簡易書留郵便で郵送（受付最終日の消印まで有効）、又は当センター大阪府支部窓口を持参してください。（角2号（願書を折らずに入る大きさ）の封筒であれば、他の封筒でも差し支えありませんが、願書在中と記載してください。）
- イ 当センター大阪府支部窓口を持参する場合は、受付期間中（土日祝日を除く。）の9：00から17：00まで受け付けます。
- ウ 2名以上の願書を一つの封筒で郵送する場合は、願書提出者名とその試験種類を記載した一覧表を同封し、封筒の表に願書の通数を記入してください。
- エ 受付期間内に提出されても添付書類に不備のある願書は受け付けできません。又、願書の記入文字が乱雑で判読できない場合や、虚偽の記載、虚偽の証明書を提出した場合は、願書の受け付けを拒否し、又は受験後の合格を取り消すことがあります。
- オ 受付期間外に到着した受験願書は受け付けできません。この場合は、受験申請書類を返却いたします。返却費用は、本人の負担となります。
- カ 願書提出後は、願書、手数料その他提出した書類は一切お返しいたしません。又、内容の変更もできません。
- キ 車イスなど受験上の配慮を希望する方は、願書提出時に申し出てください。
- ク 当センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

9 受験票及び写真 ※12ページ（受験票）を参照

- (1) 受験票について、電子申請の場合は、書面申請の受験票発送日に、申請時に入力されたメールアドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールを送信します。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷（A4普通紙）して作成してください。ダウンロードできない場合は、当センターホームページを参照してください。
書面申請の場合は、郵便はがき（圧着式はがき）で、試験日の10日前までに郵送しますが、郵便事情により遅れることがあります。
- (2) 写真を貼った受験票がないと受験できません。受験票が到着しない場合や一旦到着した受験票を紛失した場合は、試験日の2営業日前までに当センター大阪府支部へ連絡してください。（9：00～17：00）登録データを確認したうえで、受験票を再送付するか、試験当日に試験会場でお渡しするかをお伝えします。
- (3) 試験当日にお渡しすると伝えられた方、また再送付されてもなお受験票が到着しない方は、直接試験会場に設置する試験本部へ、本人確認ができる証明書（運転免許証等）と受験票に貼る写真を持参のうえ、集合時刻の10分以上前にお越しください。
- (4) 受験票の写真が規格外であったり、本人と確認できない写真であった場合、受験できないことがあります。写真の規格はP.12を参照してください。
- (5) 受験票の住所、氏名、フリガナなどが間違っている場合は、試験当日に試験室で試験監督員がお渡しする修正用紙に正しい内容を記入して提出してください。
- (6) 受験票に記載の集合時刻、試験室その他注意事項をよく読んで確認し、集合時刻に遅れないように、試験会場にお越しください。

10 試験当日

(1) 持ち物

- ア 受験票（縦4.5cm×横3.5cmの写真をのり付けし、氏名欄に署名）
※複数の類を受験する場合は、類ごとに必要です。
- イ 鉛筆又はシャープペンシル（いずれもHB又はB）
- ウ プラスチック消しゴム

(2) 集合時刻

試験開始時刻の30分前に集合し、受験にあたっての注意事項の説明を受けてください。

(3) 試験の方法

マークシートに記入する試験で、甲種及び乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式です。

(4) その他

ア 次の場合は受験できません。

- ①受験票がない場合
- ②受験票に写真を貼っていない場合
- ③受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

イ ボールペン、サインペンは使用できません。

ウ 試験当日は、受験票の写真と本人の確認を行います。必要に応じて、本人確認のため係員から写真付きの証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。

エ 電卓などの計算用器具や定規類の使用はできません。試験中にこれらの機器を使用すると不正行為となります。

オ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）

カ 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。

キ 問題集は、持ち出し、持ち帰り禁止です。

ク 試験会場及びその周辺は駐車禁止です。自動車や自動二輪車（原動機付自転車を含む）で来場されても受験できませんのでご了承ください。送迎のための駐停車も固くお断りしています。

ケ 試験会場敷地内は禁煙です。

コ 事故等により会場や日程を変更する場合には、大阪府支部からの緊急情報として当センターホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時刻の2時間前までに掲示します。

サ 試験当日を含め試験会場への電話での問い合わせや連絡はしないでください。

11 合格基準

試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。（試験科目の免除を受けた場合は、その科目を除く。一部の免除の場合は、免除された以外の問題での成績。）

12 試験結果の通知（合格発表）

(1) 合格発表予定日は、1ページの試験日程表のとおりです。

(2) 試験の結果は、受験者全員に試験結果通知書（圧着式はがき）を郵送しますが、郵便事情により到着が遅れることもあります。この試験結果通知書には、試験科目ごとの成績を正答率で記載しています。

(3) 合格者の受験番号は、発表予定日の正午から当センターのホームページ上に掲示します。（HPアドレスは1ページを参照）又、当センター大阪府支部で合格者の受験番号を掲示します。

(4) 試験結果通知書や受験票は、再受験するときの電子申請等の資料になりますので大切に保管してください。

※試験会場周辺で、当センターの関係者であるかのような言動で、可否の結果通知等を有料で行う者がおりますが、当センターとは一切関係ありません。くれぐれもご注意ください。

※電話による受験番号や可否の問い合わせ、また試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

13 合格後の免状交付申請手続き

試験当日に免状申請用書類一式を入れた封筒を配布しますので、大切に保管してください。「試験結果通知書及び免状交付申請書」が後日郵送されますので、合格者は、試験当日に配布した封筒に同封の「免状申請のお知らせ」をご確認の上、申請してください。

なお、免状の交付には1種類ごとに免状交付申請手数料が必要となります。

また、旧姓併記を希望する場合は、当センター大阪府支部にお問い合わせください。

14 甲種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間（甲種試験には試験科目の免除はありません。）

試験科目	()内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令（法令）		15問	45問	2時間30分
②物理学及び化学（物化）		10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）		20問		

(2) 受験資格及び証明書類（コピー可）

区分	対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類（注1）
①	大学等において化学に関する学科等を卒業した者（10ページ別表1参照）	・大学、短期大学、高等専門学校 ・大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ・高等学校・中等教育学校の修業年限が2年以上の専攻科 ・専修学校（注2） ・防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	[大学等卒]	卒業証書・卒業証明書・学位記のいずれか ※学科等の名称が明記されているもの
②	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した者（10ページ別表2参照）	・大学、短期大学、大学院 ・高等専門学校の専門科目 ・大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 ・専修学校（注2） ・防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	[15単位] （注3）	単位修得証明書（注4） 又は 成績証明書 ※修得単位が明記されているもの
③	乙種危険物取扱者免状を有する者	・乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の者	[実務2年]	乙種危険物取扱実務経験証明書（注5）
		・次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第3類 ○第2類又は第4類 ○第5類	[4種類]	既得免状欄に貼付した危険物取扱者免状（電子申請の場合は不要）
④	その他の者	・修士、博士の学位を授与された者で、化学に関する事項を専攻した者（外国の同学位も含む。）	[学位]	学位授与証明書・学位記・修了証書・修了証明書のいずれか ※学位取得及び化学に関する専攻等の名称が明記されているもの

※卒業証書、学位記の原寸が大きいものは、縮小コピーしたもので差し支えありません。

※コピーは文字が鮮明で読めるものにしてください。

※証明書類が外国語の場合には、日本語訳を添付してください。

（注1）書面申請の方で過去に全国いずれかの支部で甲種危険物取扱者試験を受験された方は、その時の「受験票（控）」又は「試験結果通知書」（コピー可）を提出することにより、甲種の受験資格の証明書に代えることができます。

この場合でも、危険物取扱者免状をお持ちの方は免状のコピーを既得免状欄に貼付してください。

（注2）専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。

- ・専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面
- ・専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（11ページの書式例1を参照）

（注3）大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は研究生等にかかわらず、通算して算定することができます。

又、学校教育法による通信教育、放送大学も同様です。又、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

（注4）「単位修得証明書」は、11ページの書式例2を参照してください。

（注5）「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、11ページの書式例3を参照してください。

※ 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細は、お問い合わせください。

15 乙種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 () 内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令 (法令)	15問	35問	2 時間
②基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

(2) 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。

電子申請の方で、火薬類免状による科目免除を受ける場合は、科目免除の欄で「受ける」を選択し、証明書類をアップロードしてください。

書面申請の方は、受験願書に該当項目等を記入するとともに、証明書類のコピーを受験願書 (B面裏) の各種証明書等貼付欄に貼り付けてください。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間	証明書類
乙種危険物取扱者免状を有する方	第1類～第6類の受験	①法令	全部免除	0 問	10問	35分	乙種免状
		②物化	全部免除	0 問			
		③性消	免除なし	10問			
火薬類免状を有し科目免除を申請する方	第1類又は第5類の受験	①法令	免除なし	15問	24問	1 時間30分	火薬類免状
		②物化	一部免除	4 問			
		③性消	一部免除	5 問			
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有し科目免除を申請する方	第1類又は第5類の受験	①法令	全部免除	0 問	5 問	35分	乙種免状と火薬類免状
		②物化	全部免除	0 問			
		③性消	一部免除	5 問			

※火薬類免状とは、次の免状です。

- ・火薬類取締法に定める甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状
- ・甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状

16 丙種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 () 内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令 (法令)	10問	25問	1 時間15分
②燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

(2) 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。

電子申請の方は、科目免除の欄で「受ける」を選択し、証明書類をアップロードしてください。

書面申請の方は、受験願書に該当項目を○で囲むとともに、証明書類を受験願書 (B面裏) の各種証明書等貼付欄に貼り付けてください。(コピー可)

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間	証明書類
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令	免除なし	10問	20問	1 時間00分	消防団長又は市町村長及び消防学校長が証明する書類
	②燃消	全部免除	0 問			
	③性消	免除なし	10問			

別 表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称				
アイエオ	安全工学科 医療薬学科 衛生薬学科 応用原子核工学科 応用生物科学科 応用生物工学科 応用生命科学科 応用生命工学科 応用微生物工学科 環境生命科学科 環境物質工学科 環境マテリアル学科	コ 工業材料科 厚生薬学科 高分子学科 高分子工学科 高分子材料工学科 サ 材料開発工学科 材料科学科 材料科学工学科 材料加工学科 材料学科 材料機能工学科 材料工学科 材料物性学科 材料物性工学科 材料プロセス工学科 シ 色染工芸学科 資源工学科 資源素材工学科 システム量子工学科 食品科学科 食品学科 食品工学科 食品工業科学科 食料科学科 森林資源科学科 セ 製剤学科 製糸学科	セ 製造薬学科 生体機能応用工学科 生体物質工学科 生体分子工学科 生物応用工学科 生物機能工学科 生物工学科 生物資源科学科 生物資源利用学科 生物生産科学科 生物分子科学科 生物薬学科 精密素材工学科 精密物質学科 生命理学科 製薬学科 繊維工学科 繊維高分子工学科 ソ 総合薬学科 総合薬品科学科 素材工学科 塗装科 ト 醗酵工学科 醗酵生産学科 ハ 物質科学科 フ 物質科学工学科 物質工学科	フ 物質生物科学科 物質生物工学科 物質生命工学科 物質生命システム工学科 物質分子科学科 物質分子学科 物質理工学科 プロセス工学科 分子工学科 分子システム工学科 分子生物学科 分子生命科学科 分子素材工学科 マ マテリアル科学科 マテリアル工学科 ム 無機材料工学科 冶金学科 冶金工学科 薬科学科 薬学科 薬剤学科 薬品科学科 有機材料工学科 窯業工学科 林産学科 ユ 林産工学科 ヨ 林産工学科

《注1》学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。
《注2》学科名等の下に、「専攻」、「系」、「コース」等の名称を用いるものは、学科又は課程と同等とみなします。

別 表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目(講義、演習、実験、実習及び実技を含む)

化学の授業科目の名称				
ア イ エ オ	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学 移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学 衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学 応化・プロセス工学 オ 回折・結晶学 カ 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論 キ 機器分析	キ 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 凝固定論及び結晶生成 金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 ケ 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料 コ 高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学	コ 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 サ 細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学	サ 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 シ 産業廃水処理 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 ス 水質学 セ 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学

セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック特論 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 バルブ学 バルブ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学	ヒ	表面分析 肥料学 ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ム	無機材料質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分子学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
	ソ 相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学		ノ ハ ヒ		ヘ ホ マ ミ		メ モ ヤ ユ ヨ リ レ

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号	
甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)	
〇〇 年 月 日 入学	〇〇科〇〇コース
〇〇 年 月 日 修了	
氏名 〇〇 〇〇 年 月 日 生	
学校教育法第124条に定める専修学校として 認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の区分	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間
上記のとおり証明する。 年 月 日 (専修学校の所在地) 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印	

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書(危険物取扱者)

〇〇第 号			
単位修得証明書(危険物取扱者)			
〇〇 年 月 日 入学	〇〇部	〇〇科	
〇〇 年 月 日 修了			
氏名 〇〇 〇〇 年 月 日 生			
化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2
上記のとおり証明する。 年 月 日 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印			

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

書式例 3 乙種危険物取扱実務経験証明書

乙種危険物取扱実務経験証明書			
氏 名	(年 月 日生)		
取り扱った危険物	類別	第 類	品名
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月 日)		
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所・貯蔵所・取扱所		
上記のとおり相連ないことを証明します。 証明年月日 年 月 日 事業所名 印 所在地 証明者 職名 氏名 印 電話番号 ()			
※証明書の内容について、問合せする場合があります。			

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

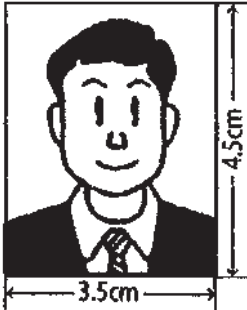
《注》電子申請の方は、当センターホームページの「危険物取扱者試験受験資格」の甲種の説明のところから証明書をダウンロードして使うこともできます。

《注》書面申請の方は、受験願書(B面裏)の証明欄を活用し、直接記入押印してください。

受験票は必ず記載内容を確認し、試験当日は下記の条件に適した写真を貼って持参してください。

※写真が条件に適合しない場合は再提出を求めることがあります。

危険物取扱者試験 受験票



受験番号	E1-0811	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名			
氏 名			
試験日時	年 月 日 ○○時○○分集合 ○○時○○分試験開始		
試験会場 (試験室)			
免除科目		資格判定 コード	
既得免状			

- ・受験日前6か月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、上三分身像で、縦4.5cm 横3.5cmの大きさの枠なし。
- ・鮮明な写真で、裏面に氏名、年齢、撮影年月日を記入。
- ・しっかりとりのり付けしてください。

※セロハンテープ不可

- ・カラー、白黒不問。
- ・髪の毛が目にかからないこと。
- ・メガネのレンズに光が反射していないこと。
サングラス不可。
- ・変色、汚れ、キズがないこと。
- ・写真データを自ら印刷する場合は拡大、縮小によるゆがみ等がない一般的な証明写真と同等の高画質なものに限る（普通紙不可）。

※免状を作成するときには、この写真を利用します。

- ・氏名を記入してください。

〈悪い写真例〉



像が大き



像が小さい



片寄っている



前髪で目が隠れている

※写真を貼った受験票がないと受験できません。

※受験票の写真が規格外であったり、本人と確認できない場合、受験できないことがあります。

※個人情報の取り扱い

当センターは、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

(1) 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

ア 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

イ 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書や受験票の表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

(2) 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

(注) 1 2枚複写ですので、「黒のボールペン」でしっかり書いてください。
2 書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
3 太線の枠の中だけに文字、数字、○、記号等で記入してください。1マスには1字ずつ記入してください。
4 ※印の□の中には記入しないでください。
5 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。
6 午前の試験と午後の試験を併願受験（3ページ5(1)参照）する場合は、それぞれに受験願書を作成し、願書の上部空白部分に「併願」と朱書して同時に提出してください。
7 複数受験（3ページ5(2)参照）する場合は、それぞれに受験願書を作成し、願書の上部空白部分に「複数2」又は「複数3」と朱書して同時に提出してください。

危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

「姓」を記入
左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はローマ字氏名を記入してください。

「名」を記入
フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。

申請日を記入
令和 00 年 00 月 00 日

大阪と記入してください。

都道府県名 大阪

申請者氏名 木オサカナ 大阪 三郎

生年月日 (大) (昭) (平) (令) 30 年 05 月 09 日生 本籍 大阪 都道府県 大阪 本籍コード 27

郵便番号 540-0012 必ず記入してください 自宅電話番号 090-0000-1111 又は携帯電話番号

住所 大阪市中央区谷町1-5-4 近畿ビルマンション601号 勤務先名又は学校名 ○○会社 連絡先電話番号(携帯電話も可) 06-6941-8430 内線()

試験日 令和 00 年 00 月 00 日

試験種類 (甲) (乙) (丙) 種 第 4 類

受験地 大阪大学 豊中キャンパス

甲種受験資格 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除 (受ける) (受けない)

科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (受けていない)

5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)

同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること (甲) (乙) (丙) 種 第 類

免状取得の有無について記入してください (有) (無)

免状番号 1234 5678 9000

元号コード (昭和3 平成4 令和5) 免状交付年月日 交付番号

取得している危険物取扱者免状は、全部記入してください

併願、複数受験をされる方は、それぞれの願書に他種類を記入

危険物取扱者免状の有無を記入

有に○した方は記入
免状のコピーをB面裏に貼る

他の都道府県での受験申請状況

都道府県コード 試験種類 試験日

該当する職業等に1つだけ○を記入してください

① 高校生 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ③ ガラリスト ④ 化学工業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑥ 危険物の運送業 ⑦ 危険物を扱うその他の事業 ⑧ 公務員 ⑨ 警備業 ⑩ ビル管理業 ⑪ その他

主となるものに○をつけてください

申請日の3か月以内に他県で申請又は受験した場合は記入

免状の写真下の12桁の数字を記入

(記入上の注意)

● ※印は、記入しないでください

● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください

● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください

● 枠は該当するものに○を記入してください

● 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です

願書B面裏の「都道府県コード」を記入

受験願書（B面）の記入例

様式第25(第57条関係)

危険物取扱者試験受験願書

※記入欄はA面と複写式になっています。

一般財団法人	消防試験研究センター理事長 殿	都道府県名	大阪	申請日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
申請者氏名	フリガナ オオサカ 大阪	サブ・ロウ 三郎			
生年月日	大 昭 平 令 30 年 05 月 09 日生	本籍	大阪	都道府県	大阪
郵便番号	540-0012	自宅電話番号 又は携帯電話番号	090-0000-1111		
住所	大阪市中央区谷町 1-5-4		勤務先等連絡先 〇〇会社 連絡先電話番号 06-6941-8430 内線(123)		
	近畿ヒールマンション601号				

試験日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
試験種類	甲 乙 丙 種 — 第 4 類
受験地	大阪大学 豊中キャンパス
甲種受験資格	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける)
科目免除	乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)

※1 ◎払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
(郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人) この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

払込金額 加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター 00170-3-136220

※ご依頼人住所 氏名 (電話) (郵便局へ)⇒日附印を押印

貼 受 験 願 書 に 貼 っ て く だ さ い

日附印なき証明書は無効 (払込人・消防試験研究センター) (※添付事項を記載 2015 年)

※受付欄

赤枠のついた振替払込受付証明書(お客さま用)を全面のり付けにしてください。

金額 甲種 7,200 円
乙種 5,300 円
丙種 4,200 円

郵便局の窓口で日附印を押印したもの。

こちらを願書に貼ってください。(全面のり付け)

◎2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。

・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号(18桁)
※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

備考

払込み後は、必ず決済完了番号(18桁)を記入してください。

備考

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は、「外国籍」と記入すること。
3 ※印の欄は、記入しないこと。

※国 体 コード 〇〇〇〇 ※受付機関 コード 〇〇 ※分 類 コード 〇〇〇〇 ※

※この払込用紙は郵便局・ゆうちょ銀行の窓口専用です。ATMによる払込みは、行わないでください。

(払込用紙)

郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます		本人控え	受験願書に貼付する部分
払込取扱票 00 東京 日 附 記 号 番 号 金額 千・百・十・万・千・百・十・円 0 0 1 7 0 3 1 3 6 2 2 0 一般財団法人 消防試験研究センター ※(郵便番号) (住所) 氏名 (電話) (郵便局・ゆうちょ銀行)の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」に日附印を押印をうけてください。 願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼ってください。 金額の訂正は無効です。 ご依頼人欄に、住所・氏名をご記入ください。(承認番号東第54476号) これより下部には何も記入しないでください。 日 附 印		振替払込請求書兼受領証 日 附 記 号 番 号 金額 千・百・十・万・千・百・十・円 0 0 1 7 0 3 1 3 6 2 2 0 一般財団法人 消防試験研究センター 加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター 00170-3-136220 ※ご依頼人住所 氏名 (電話) (郵便局へ)⇒日附印を押印 貼 受 験 願 書 に 貼 っ て く だ さ い 日附印なき証明書は無効 (払込人・消防試験研究センター) (※添付事項を記載 2015 年)	振替払込受付証明書(お客さま用) (郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人) この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。 払込金額 加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター 00170-3-136220 ※ご依頼人住所 氏名 (電話) (郵便局へ)⇒日附印を押印 貼 受 験 願 書 に 貼 っ て く だ さ い 日附印なき証明書は無効 (払込人・消防試験研究センター) (※添付事項を記載 2015 年)

受験願書（B面裏）の記入例

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

各種証明書等をこの部分にのり付けしてください。

都道府県等コード表

北海道 01	福島 07	東京 13	山梨 19	滋賀 25	鳥取 31	香川 37	熊本 43
青森 02	茨城 08	神奈川 14	長野 20	京都 26	島根 32	愛媛 38	大分 44
岩手 03	栃木 09	新潟 15	岐阜 21	大阪 27	岡山 33	高知 39	宮崎 45
宮城 04	群馬 10	富山 16	静岡 22	兵庫 28	広島 34	福岡 40	鹿児島 46
秋田 05	埼玉 11	石川 17	愛知 23	奈良 29	山口 35	佐賀 41	沖縄 47
山形 06	千葉 12	福井 18	三重 24	和歌山 30	徳島 36	長崎 42	外国籍 99

危険物製造所等における実務経験2年以上で
甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名			年 月 日生
取り扱った危険物	第 類	品 名	
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月)		
製造所等の区分	・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。 証明年月日 年 月 日			
事業所名			
証明者 役職	印		
氏名			
電話	-	-	印

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、
各種証明書類（必要事項が記入されており、
押印されているもの。）を貼付して下さい
（消防法第13条の3第4項第1号及び
第2号）。

3ページの1「取り扱うことができる危険物」の
具体の品名を記入してください。

事業所（会社等）の印と
証明者の印（私印又は会社等の代表者印）の
両方を押印してください。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

（B面裏）

危険物取扱者免状をお持ちの方は、科目免除の有無に関係なく免状のコピー（表・裏）を張り付けてください（全面のり付け）

試験会場への経路

試験会場及びその周辺は駐車禁止です。

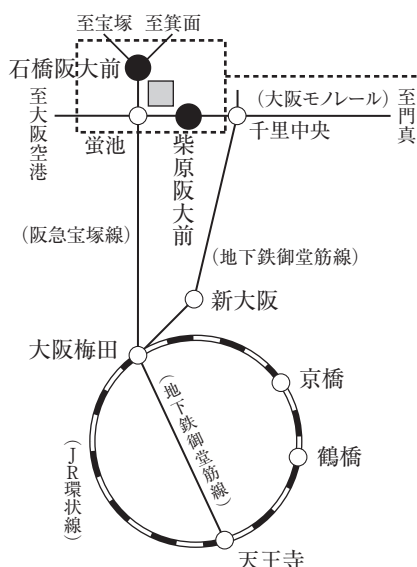
試験会場敷地内は禁煙です。

自動車または自動二輪車（含む原動機付自転車）で来場された場合は、受験できません。
試験当日を含め試験会場への電話での問い合わせや連絡はしないでください。

大阪大学 豊中キャンパス

豊中市待兼山町1-16

- 最寄駅
- ・ 阪急宝塚線「石橋阪大前駅」下車、全学教育講義棟・法経講義棟・文法経講義棟・基礎工学棟まで徒歩約15分
 - ・ 大阪モノレール「柴原阪大前駅」下車、全学教育講義棟・法経講義棟・文法経講義棟・基礎工学棟まで徒歩約15分



- ・ 阪急宝塚線 大阪梅田～石橋阪大前 ……15分（急行）
- ・ 地下鉄 新大阪～千里中央 ……13分
- ・ 大阪モノレール 千里中央～柴原阪大前 ……6分

